

部局名	生涯学習部	所属名	青少年課	所属長名	小松 静子	電 話	481-0306
-----	-------	-----	------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3994		事務事業名称	青少年交流事業				短縮コード	経常	3994	臨時	3995
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	11	青少年対策費
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		○八千代市補助金等交付規則 ○鉏路市・八千代市少年少女スポーツ交流事業補助金交付要綱						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
ブロンズ像友好鉏路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会は、市民が村上橋ブロンズ像設置運動を展開する際、鉏路市の幣舞橋ブロンズ像設置の市民運動の経験を参考にさせてもらったことがきっかけで昭和57年に始まった。当初は少年野球のみの交流であったが、昭和59年にサッカー、平成14年度からはミニバスケットボールの種目加わり、現在3種目の大会となっている。平成24年度で第31回を迎えた。 平成24年で姉妹都市であるタイラー市と姉妹都市提携20周年を迎えることから、高校生をタイラー市に派遣し、ホームステイ等の交流事業を通じて異文化に対する理解を深め、国際的視野をもった青少年を育成し、併せて両市の一層の友好親善を図ることを目的に派遣事業を実施した。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして					
ブロンズ像友好鉏路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会は、平成23年度が第30回目の大会となり、鉏路市からこれを一つの節目として平成24年度以降について事業見直しの申し出があった。平成23年度中に八千代市の競技団体及び鉏路市と協議を行った結果、平成24年度以降は両市持ち回りの隔年開催(開催の翌年は大会休止)とし、また野球の出場チームを2チームから1チームへ変更した。 平成24年度より、八千代こども国際平和文化基金の活用をこども親善大使による交流事業に限定しないこととなり、姉妹都市タイラー市との青少年交流事業については国際推進室から青少年課に所管が移った。					大項目（節）	05	第5節青少年健全育成					
					中 項 目	01	1. 青少年健全育成					
					小項目（施策）	03	(3) 青少年健全育成事業の推進					
					細 項 目	02	②青少年による自主活動の推進					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内の小学5・6年生 高校生							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： ○ブロンズ像友好鉏路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会 北海道鉏路市へ少年野球1チーム、少年サッカー1チーム、ミニバスケットボール男女各1チームを派遣し、交歓試合や交流会などを行った公益財団法人八千代市文化・スポーツ振興財団へ補助金を交付し、大会開催を支援した。 ○タイラー市青少年派遣事業 事業の主催者である八千代市国際交流協会へ補助金を交付し、ローズフェスティバル参加、高校訪問、滞在中2泊のホームステイ等の事業を支援した。							
	※平成25年度に計画していること： ○なし （ブロンズ像友好鉏路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会 各年開催のため、平成25年度は休止の年となる。） （タイラー市青少年派遣事業 24年度単年度の事業である。）							
意図 （何を狙っているのか）	スポーツを通じて他市の子どもたちと交流することにより、判断力，行動力を持った健全な青少年が育成され，次世代の指導者養成にも繋がる。ホームステイ等の交流体験を通じて異文化に対する理解を深め，国際的視野をもった青少年を育成し，併せて両市の一層の友好親善を図る。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市内小学5・6年生の児童数	人	3,872	3,938	3,913	0	
	指標 2	市内在住の高校生年代の人	人		5,565	5,563	0	
	指標 3							
活動指標	指標 1	鉏路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会補助金額	千円	2,100	2,900	2,900	0	
	指標 2	タイラー市青少年派遣事業補助金	千円		1,165	1,165	0	
	指標 3							
成果指標	指標 1	鉏路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会の参加者数	人	74	65	56	0	
	指標 2	タイラー市青少年派遣者数	人		10	10	0	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3994	事務事業名称	青少年交流事業				所属名	青少年課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		釧路市との交流事業については、隔年開催であり、平成25年度は休止。 タイラー市との青少年交流事業については、平成24年度単年度の事業である。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
				☐ その他				
				☒ 廃止・休止				
			☐ 事業完了					
			☐ 現状のまま継続					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			釧路市との交流事業は、継続して実施し、両市の青少年の健全育成に貢献していく。 タイラー市との青少年交流事業は、平成24年度単年度の事業である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
釧路市との交流大会について、各競技団体とも大会の継続を望んでいる。									

所属長コメント	スポーツ交歓大会を通じお互いの自然や習慣の違いに触れるなどの体験や親睦を深め、集団生活への意欲を高めるなど青少年の健全育成を図り、釧路市との交流を促進する。 タイラー市青少年派遣を通じて異文化に対する理解を深め、国際的視野を持った青少年を育成し、両市の友好親善を図った。										
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			釧路市との交流事業は、隔年度開催のため平成25年度は休止となる。							
	☐ 手法プロセスの改革・改善										
	☐ 事業規模の拡大・縮小										
	☐ 統合・役割見直し										
			☐ その他								
☒ 廃止・休止											
☐ 事業完了											
☐ 現状のまま継続											